

高病原性鳥インフルエンザ 宮崎県で12例目、全国で19例目 疑似患畜 確認

【全国19例目】

▼宮崎県延岡市北浦町三河内(みかわうち)、肉用鶏 約7,500羽

(この他、同一の管理者が飼養管理している農場(約12,500羽)があります。)

▼2月16日午後4時頃、農場から通報(死亡羽数の増加15日に20羽→16日60羽)

▼家畜保健衛生所による簡易検査で10羽中5羽陽性▼2月17日未明、遺伝子検査の結果H5亜型と判明

▼死亡鶏等の状況も考慮し、疑似患畜と判定

▼殺処分、焼埋却、移動制限区域の設定等防疫措置を的確・迅速に実施



高病原性鳥インフルエンザの侵入・拡散の防止のポイント

飼養衛生管理の遵守と異常発見時の早期通報の徹底

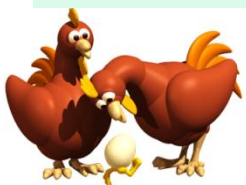
1 農場の衛生管理の徹底 (基本的な飼養衛生管理)

- ①防鳥ネット等、野生鳥獣の侵入防止対策の徹底
- ②農場内専用の衣服、履き物を設置し、出入り時は必要な消毒を実施
- ③鶏の飲用水は、消毒されたものを給与



2 早期通報の徹底

- ①鶏冠・肉垂等のチアノーゼ、沈うつ等本病が疑われる症状を確認した場合
- ②1鶏舎において、死亡羽数が直近3週間の平均死亡羽数と比べて2倍以上に増えた場合
- ③1鶏舎において5羽以上がまとまって死亡しているような場合
- ④その他にも、突然死、産卵率の低下、頸の捻転等神経症候等の異常が確認された場合



連絡先 飛騨家畜保健衛生所
TEL(0577)33-1111 FAX32-9019
E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

